

AS-3 透視台

診察用X線透視台

DIAGNOSTIC TABLE

用 途

この装置は、診察用X線高電圧装置およびX線管装置と組み合わせて使用するX線透視台で、つぎの用途に適します。

1. 透視診察
2. 速写撮影
3. 一般直接撮影
4. ブッキ撮影

特 長

1. ケイ光板部のスイッチ1つで、患者をのせたまま寝台の倒立および寝台面のスライドが自由に行なえます。
2. 駆動部には強力なコンデンサモータを使用し、当社の誇る精密工作技術を用いた機構により 低音・円滑に移動します。また 回転には独自のマグネットブレーキが設けてあり、スイッチを OFF にすると移動はただちに停止します。
3. 速写装置の撮影機構は、すべて電気制御式により自動的に動作します。
4. 速写装置に付属する透視台制御盤は、各操作部分の配列が きわめて操作がしやすく とくに分割撮影はスイッチ1個で1, 2, 4枚取りが簡単・正確に切りかえられます。
5. 撮影時には、ケイ光板部に内蔵のグリットが自動的に移動し、シマ目のない鮮明な写真像が得られます。
6. ケイ光板は高輝度・高鮮鋭度のものを使用しています。
7. ケイ光板部は簡単に上へはねあげることができますので、ブッキを組み込んで 前面より撮影することもできます。
8. 完全な重量平衡機構により軽快かつ円滑に操作できます。
9. 寝台面の高さが低く診断に便利です。大きい逆傾斜ができ、さらに ブッキを取りつけることができるにもかかわらず、寝台を水平にしたときの寝台面の床面からの高さは 約790mm で、この種透視台としては最低になるよう設計してあります。(実用新案 471594)
10. 寝台面はデコラ張りで汚損の心配がなく、つねに美

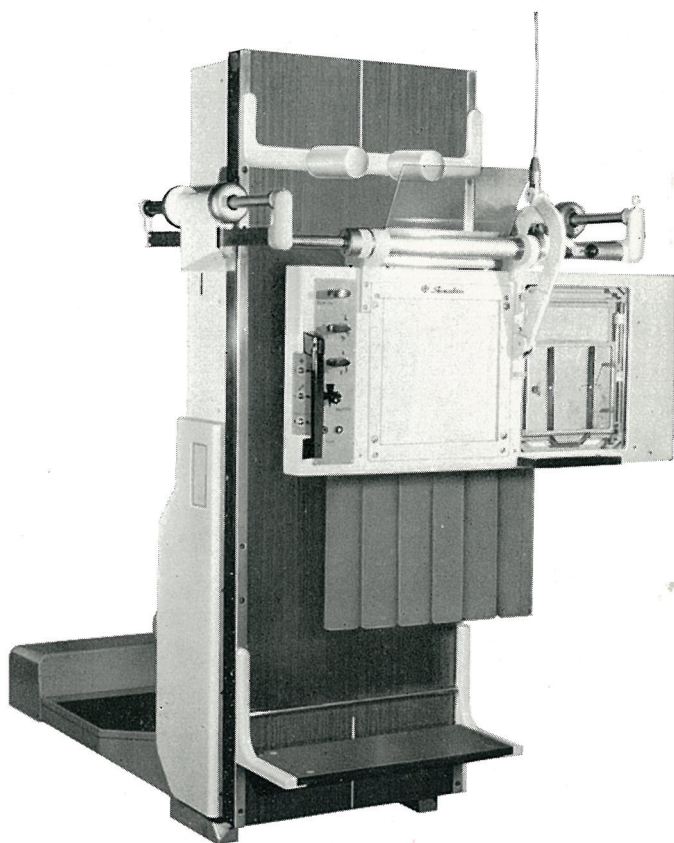


図1 AS-3 透視台全景

しい外観と 清潔な感じでご使用願えます。

11. 透視台の各移動部の停止は、電磁ロック方式の採用により 瞬時に移動部の固定ができます。(特許 212164)
12. X線の防護設備は 側面・ケイ光板部ともに完全に行なわれています。とくにケイ光板部下部につり下げられた 含鉛防護前だれは 独特の考案が施され、寝台の傾斜にしたがい 片手で側面の方へ任意に移動させることができます。(実用新案 492501)

表 1

11×14取りわく (大陸判)	タ	テ	1 枚 写 し
10×12取りわく (4ツ切判)	タ	テ・ヨ	各 1 枚 写 し
	タ	テ	2 分割 2 枚 写 し
8×10取りわく (6ツ切判)	タ	テ・ヨ	各 1 枚 写 し
	ヨ	コ	2 分割 2 枚 写 し
	ク		4 分割 4 枚 写 し

表 2

	上	下	左	右	前	後
移動範囲	約 102~154cm		各約 11.5cm		約 12~48cm	
備 考	ケイ光板中心と床面との距離		透視板中心とケイ光板中心との距離		ケイ光板部裏面と透視板面との距離	